

## 3節 大綱1：産業・経済の振興

## 1-1

## 農林畜産業



■ 担当課 農政課 ■ 関係課 農業委員会

## 小施策

- 1 農業経営      2 農地・農村環境  
3 土地改良      4 森林整備・治山

## 5年後の目指す姿

農地や森林等の持つ機能を暮らしの充実につなげるほか、農林畜産業の従事者が増えることで、農林畜産業の現場が活気にあふれ、安全・安心な農林畜産物の生産地として「香取」の認知度が高まっています。

## 業績評価指標

小施策	指標名	指標の説明	現状値	目標値		
			2022(令和4)	2023(令和5)	2025(令和7)	2027(令和9)
農業経営	農業産出額	各年度における品目別に生産量と農家庭先販売価格を乗じ、各品目の総和を算出(出典：市町村別農業産出額(農林水産省)) <b>KPI</b>	317.4億円(2020)	318.0億円	319.0億円	320.0億円
	将来の農地利用に係る地域計画作成数	集落・地域における地域計画の累計策定数(農政課調べ) <b>KPI</b>	67件(2021)	72件	76件	80件
	ブランド化新規件数	各年度における「ちば香取のすぐれもの」の新規認定数(農政課調べ) <b>KPI</b>	9件(2021)	3件	3件	3件
	紅小町の郷来場者数	各年度における道の駅くりもと紅小町の郷の利用者数(農政課調べ) <b>KPI</b>	747,147人(2021)	770,000人	800,000人	830,000人
農地・農村環境	耕作放棄地解消面積	各年度における耕作放棄地を解消し、農地へ再生した面積(農業委員会調べ)	13.9ha(2021)	14.0ha	17.0ha	20.0ha
土地改良	大規模ほ場整備数	10a規模の小規模ほ場から1ha規模の大規模ほ場への整備完了累計件数(農政課調べ) <b>KPI</b>	1件	1件	2件	3件
森林整備・治山	間伐面積	各年度における造林木の成長に応じて、密集化する樹木の一部を伐採した森林の面積(農政課調べ)	0.25ha(2021)	0.30ha	0.40ha	0.50ha

## 関連する個別計画

- ・香取市農業振興地域整備計画書(2009(平成21)年度～)
- ・農業経営基盤の強化に関する基本的な構想(2014(平成26)年度～)
- ・香取市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン(2017(平成29)年度～)
- ・香取市6次産業化等戦略(2022(令和4)年度～2024(令和6)年度)
- ・香取市森林整備計画(2018(平成30)年度～2027(令和9)年度)
- ・香取市鳥獣被害防止計画(2021(令和3)年度～2023(令和5)年度)

# 1 農業経営

## 現状と課題

- 1 地域農業の経営基盤強化(人・農地)及び多様な担い手(農地の受け手)の確保が必要とされており、特に高齢化の進む農業において、地域おこし協力隊制度の活用を含め、若い後継者の育成が重要となっています。また、毎年度、農業経営を取り巻く現況と課題の把握及び共有化に努め、各主体が講じる対策(手段)を明確化するため、有識者等による懇談組織の設置を含め、推進体制を確立し、取組方針を作成する必要があります。
- 2 地域農業の担い手(中心経営体)を明確にすることで、農地の集積・集約化が可能となるため、人・農地プラン(地域計画)未作成地域への普及促進と既存プランの更新を含む実質化が重要であり、対象地域の話合いを進めていく必要があります。
- 3 主食用米の消費量減少による米価格の下落により、主要作物である水稻生産農家の経営継続が困難となること が想定されるため、計画的な生産及び飼料用米や高収益作物等への転換が求められています。
- 4 園芸農産物においては、農業従事者の高齢化と後継者不足に伴う担い手の減少、耕作放棄地の増加など多くの課題を抱えています。農作物の効率的な生産体制を構築するため、省力化のための施設や機械等の導入を支援し、生産力の強化拡大を進める必要があります。
- 5 農産物の付加価値を高める6次産業化や他産業との連携のほか、ブランド化を推進し、効果的なプロモーションを実施することで農業経営を安定させることが求められており、戦略の作成・更新及び具体的な取組が必要です。
- 6 食に対する消費者の安全・安心への要求が高まっているため、農産物の安全性を担保していく必要があります。
- 7 優良な素畜等の継続的な導入、家畜伝染病対策、省力化のための機械・施設整備など、畜産経営を安定させる支援が求められています。
- 8 都市住民との活発な交流は農林水産物の販路拡大など、地域活性化の有効な手段となっているため、農村の有効資源を活かした、都市と住民の交流施策を展開する必要があります。

## 取組方針

## ① 農業経営基盤の強化

重点

市及び地域における農業の将来の在り方等について、協議の場を設けることとし、特に、地域農業における中心経営体の育成と、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、改正農業経営基盤強化促進法に基づき、地域計画の策定を進めます。また、国の交付金等を有効に活用するなど若年就農者の育成・支援により、経営基盤の安定化を図り、地域農業の担い手として確保します。

主な取組	内容	
中心経営体の育成、確保	体制	・まとめ役となる地域農業のリーダーの養成 ・農業委員及び農地利用最適化推進委員との連携による地域内調整
	計画	・法制化に伴う地域計画の作成義務化への対応検討 ・兼業農家等の多様な担い手の確保
地域農業の若い担い手の確保	実行	・新規就農者、事業承継への支援継続 ・国の交付金等を活用した若年就農者の育成、支援 ・地域おこし協力隊の活用による新規就農の促進
農業経営ビジョンの作成及び農業経営懇談会の設置	体制	・(仮称)農業経営懇談会の設置運営
	計画	・農業経営を取り巻く現況と課題の把握及び取りまとめ ・(仮称)農業経営ビジョンの作成
安定的な農業経営を実現	実行	・市、金融機関への相談窓口の設置 ・資金融資と利子補給の実施
農業経営の法人化推進	体制	・市、県、農業会議、農業委員会の連携
	計画	・地域計画の策定時に検討・協議
企業の農業参入推進	体制	・市、県、農業会議、農業委員会の連携 ・関係機関との連携

## ② 農地集積・集約化の推進

重点

地域の話合いにより、地域計画の策定(既存プランの更新及び未作成地域への普及促進を含む。)を進め、目標地図による担い手(中心経営体)への農地の集積・集約化を進め、生産性の高い営農を目指すとともに耕作放棄地の防止に努めます。

主な取組	内容	
担い手(中心経営体)への農地の集約	体制	・農業委員及び農地利用最適化推進委員との連携による地域内農地の調整
	実行	・農地バンク(農地中間管理機構)の活用推進
	見直し	・農業経営基盤の強化の促進に関する構想の見直し
地域計画の策定・更新及び未策定地域への普及促進	体制	・推進(支援)体制の確立
	計画	・策定状況カルテの作成及び市の推進方針の明確化

### ③ 主食用米の計画的な生産及び戦略作物の作付推進

重点

需要に応じた主食用米の生産と水稲生産農家の経営安定化のため、主食用米の価格安定化に資する作付計画の実践に取り組むほか、特に、主食用米以外の戦略的作物の作付を推進します。飼料用米等に対しては、国県補助金を最大限活用するとともに市単独の奨励金の上乗せ交付により、その作付推進と相応の収入確保に努めます。また、野菜等の高収益作物の作付については、必要に応じ、畑作が可能なほ場での乾田化や作付推進に係る奨励金の交付を検討します。

主な取組	内容	
水田収益力強化ビジョンの検証及び見直し	計画	・ビジョンの検証及び見直し
主食用米の計画的な作付推進	実行	・市農業再生協議会の運営 ・計画的な作付の推進
飼料用米等の作付推進	実行	・国県補助金の活用 ・市単独奨励金の上乗せ交付
野菜等の作付推進	計画	・畑作が可能なほ場の乾田化に係る奨励金の検討 ・高収益作物の作付推進に係る奨励金の検討

### ④ 園芸農産の生産力強化

重点

低コスト耐候性ハウスや省力化機械等のスマート農業の導入による省力化の支援や耕作放棄地を活用した露地野菜の生産拡大に必要な機械導入の支援等を行い、園芸農産の生産力強化に向けた支援を実施します。また、生産施設の補強対策や非常用電源の共同利用の取組を支援するなど、大型台風等の気象災害に強い産地体制の構築を図ります。

主な取組	内容	
産地の強化・育成の支援	実行	・低コスト耐候性ハウスや省力化機械の導入等スマート農業に係る取組への支援 ・生産拡大に必要な機械導入の支援
災害に強い産地づくりの推進	実行	・産地や複数農業者による事業継続計画策定の支援 ・生産施設の補強対策への支援 ・非常用電源の共同利用等の取組への支援

### ⑤ 6次産業化やブランド化等による農産物の高付加価値化の推進

重点

市内農産物のプロモーションやPR活動をはじめ、地域資源を活用した販売促進、農産物に関する情報発信によるブランド化の推進、新たな6次産業化（他産業との事業連携を含む。）に向けた戦略の策定及び取組への支援等により、農産物の高付加価値化を推進し、農業所得の向上や経営の安定化を図ります。

主な取組	内容	
需要を捉えた販売の促進	実行	・効果的なプロモーション活動（香取市産米のPR等） ・新たな販路拡大に向けた活動支援 ・地域資源を活用した需要創出機会の拡充 ・香取市農産物販売促進協議会との連携
6次産業化等の推進	体制	・相談対応支援窓口の拡充
	計画	・新たな事業展開戦略の策定
	実行	・新たな6次産業化に向けた取組への支援 ・他産業との連携促進及び資金確保に対する支援 ・香取市農産物販売促進協議会との連携
農産物のブランド化の推進	実行	・地産地消の推奨による直売、加工等の取組支援 ・新たな商品、サービス開発の取組支援 ・他地域との差別化を図るための取組支援 ・新たな取組や農産物に関する思い等の情報発信 ・香取市農産物販売促進協議会との連携
多様な媒体を活用した情報発信の充実	体制	・推進連絡体制の構築
	計画	・有効な情報発信方法の検討
	実行	・メディア、SNS等を活用した積極的な情報発信

## ⑥ 農産物等の安全性の向上

市内農産物の安全性・安心性を理解してもらい、産地の知名度を向上させます。

主な取組	内容	
農産物の残留農薬検査・放射性物質検査の継続	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残留農薬検査や放射性物質検査の継続</li> <li>・市内農産物の安全性PRの継続</li> <li>・放射性物質検査の継続による出荷制限の解除</li> </ul>

## ⑦ 畜産経営の安定化

労働力の負担軽減及び飼養・繁殖管理の効率化を促進し、労働生産性を向上させます。また、地域と調和した持続可能な経営の展開を目指します。

主な取組	内容	
安定した家畜経営	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良家畜や精液導入の支援継続</li> <li>・国県補助金を活用した省力化のための機械設備導入への支援</li> </ul>
家畜防疫体制強化の推進	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香取市家畜防疫協会との連携</li> <li>・ワクチン接種の徹底と防疫体制の強化</li> </ul>

## ⑧ 都市と農村の交流促進

重点

道の駅くりもと紅小町の郷、滞在型市民農園クラインガルテン栗源、ふるさと農園等を活用し、農業体験や特産品のPRを行うほか、民間及び関連施設を含め、農村への宿泊・滞在や各施設間の連携を促進し、様々な都市住民との交流による地域の活性化を図ります。また、香取のふるさとまつりを開催し、本市の農産物、特産品、文化資源などを市内外に発信します。

主な取組	内容	
道の駅くりもと紅小町の郷を中心とした交流促進	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農村交流の総合拠点として情報発信の強化</li> <li>・都市住民との交流事業の充実</li> <li>・農家の販路拡大及び雇用機会等の創出</li> <li>・当施設の機能強化及び経営支援</li> </ul>
滞在型市民農園クラインガルテン栗源の有効活用	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅くりもと紅小町の郷との連携強化</li> <li>・独自事業の展開促進</li> <li>・滞在型施設としての更なる環境整備の検討</li> </ul>
ふるさと農園（山田ふるさと農園・紅小町の郷ふれあい農園）の有効活用	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規需要の開拓強化と利用者の確保</li> <li>・農業体験などの独自事業の創出</li> <li>・2農園の連携強化</li> </ul>
香取のふるさとまつりの開催	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物や特産品等の市内外へのPR実施</li> </ul>

## 現状と課題

- 1 優良農地の確保及び適正な農地利用に資するため、農地活用状況の現況把握を徹底するほか、状況に応じ、市の農業振興地域整備計画を見直す必要があります。
- 2 地元農業委員、農地利用最適化推進員と連携し、農業の生産資源である農地を守るため、耕作放棄地の解消と発生防止が求められています。
- 3 地域資源（農道、水路など）の適切な保全管理のため、農業者をはじめ、地域住民等が参画した地域資源の保全活動などに対し、支援を継続する必要があります。
- 4 周辺環境に調和した経営を推進する必要があります。
- 5 野生鳥獣の目撃情報等が増加傾向にあり、農作物への被害増加と高齢化に伴う狩猟者の減少が懸念されるため、基幹産業の農業を守る観点から、効率的かつ効果的な有害鳥獣の駆除を実施する必要があります。

## 取組方針

## ① 優良農地の確保

優良農地の確保及び農地の適正な利用・管理に資するため、農地利用状況の現況把握を徹底するほか、必要に応じ、市の農業振興地域整備計画を見直します。

主な取組	内容	
香取市農業振興地域整備計画の見直し検討	体制	・市農業委員会との連携
	計画	・農地利用状況の現況把握 ・市農業振興地域整備計画の見直し検討

## ② 耕作放棄地の解消と発生防止

地元農業委員、農地利用最適化推進員と連携し、耕作放棄地の解消及び発生防止に努めます。また、耕作放棄状態の早期是正を図るため、国・県事業の活用を推進するとともに、農地中間管理事業による担い手への農地の利用集積を推進します。

主な取組	内容	
耕作放棄地の解消及び発生防止の推進	体制	・地元農業委員、農地利用最適化推進員との連携強化
	計画	・耕作放棄地に対する市の単独事業新設の検討
	実行	・国及び県事業の活用推進 ・地元農業委員、農地利用最適化推進員との連携 ・耕作放棄地の解消及び発生防止活動の推進 ・農地中間管理事業による担い手への利用集積の強化

### ③ 農道や水路等の維持管理活動への支援の継続

地域で活用している農道、水路等を維持管理するために必要な資材や設備等の調達の支援を継続します。また、農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域組織の活動を支援します。

主な取組	内容	
農道等維持管理のための資材支給支援の継続	実行	・農道等の維持修繕に必要な資材等の支給継続 ・重機の借上げに伴う支援措置の継続
多面的機能支払交付金の継続	実行	・農道などの草刈り、水路泥上げ、用水路等の軽微な修繕など、活動組織に対する支援の継続 ・活動組織の立ち上げ支援
まほろばの里案内所維持管理の継続	体制	・民間委託を含めた管理方法の検討

### ④ 環境に配慮した営農活動の推進

環境に配慮した営農活動を推進し、生産環境の保全に取り組む団体を支援します。

主な取組	内容	
環境保全型農業に対する支援	実行	・環境に配慮した営農活動に取り組む団体への助成充実

### ⑤ 野生鳥獣による農作物等被害の軽減

農村環境の保全及び農産物等被害の軽減を図るため、香取市鳥獣被害対策協議会での取組強化や情報共有に努めるなど、有害鳥獣の駆除を効率的かつ効果的に実施します。あわせて、当対策に取り組む猟友会員の増加を図るため、わな免許取得費用の一部を助成することで狩猟免許取得を促進します。

主な取組	内容	
香取市鳥獣被害防止計画の検証及び次期計画の策定	計画	・現行計画の検証及び次期計画の策定
有害鳥獣の駆除、個体抑制の継続	体制	・効率的、効果的な実施体制の検討
狩猟免許取得の促進	実行	・被害及び生息状況の実態把握 ・補助制度の情報発信 ・狩猟資格者の確保



関東有数の米どころ



生産量が全国有数のサツマイモ



栽培が盛んな梨

## 現状と課題

- 1 農業生産基盤の充実を図るため、土地改良事業により整備した農業施設等の適正な維持管理への支援継続と農地の大区画化を推進、実現する必要があります。
- 2 農地の大区画化が求められる中、市内各土地改良団体の経営安定化及び土地改良事業の実施に伴う財源確保の観点から、各団体の経営規模が100ha以上となるよう、対象団体について、計画的な経営統合を進める必要があります。

## 取組方針

## ① 農業生産基盤の充実

重点

土地改良事業等で整備した施設の適正な維持管理を行い、農業生産基盤の充実を図ります。また、農業生産基盤を強化するため、国県の補助金を活用し、農地の大区画化を推進します。

主な取組	内容	
土地改良施設維持管理の推進	実行	・小規模な整備補修に対する支援継続 ・機能低下防止及び機能回復の整備補修に対し支援継続
ほ場整備の推進	計画	・農業生産基盤の大区画化を推進
	実行	・ほ場整備計画策定の支援
房総導水路関係施設の維持管理継続	計画	・老朽化の進んだ施設の修繕計画の策定と実施

## ② 土地改良団体の経営安定化及び計画的な統廃合の推進

農業経営の安定及び効率化に資するため、農地の大区画化を進めるに当たり、市内土地改良団体それぞれの経営安定化を図るとともに、有利な財源措置により新たな土地改良事業を実施するには、その経営規模が重要となるため、各団体100ha以上となるよう、対象団体について、計画的な経営統合を進めていきます。

主な取組	内容	
土地改良団体経営実態の把握	計画	・事業履歴の整理、経営実態の把握
土地改良団体経営統合施策の推進	計画	・経営統合に係る現状と課題の把握及び推進方針の作成
	実行	・経営統合に係る検討調整機会の創出

## 4 森林整備・治山

### 現状と課題

- 1 市内の地域計画対象民有林は約5,100haありますが、人々の暮らしにおける森林との関わりの変化をはじめ、森林所有者の高齢化や管理組合組織の活動の停滞等により、計画的な植林等を含め、管理や手入れが行き届いていない森林が多くなってきています。森林環境譲与税を活用し、新たな森林整備の手法を構築し、実践していく必要があります。
- 2 森林経営の円滑化はもとより、保水機能、自然環境への貢献など、森林や里山の持つ機能の重要性を踏まえ、自然災害への配慮及び市民参加等の促進など、必要に応じ、関係施策の導入や管理環境の整備を図る必要があります。

### 取組方針

#### ① 適正な森林整備の推進

森林整備の基本方針（香取市森林整備計画）に基づき、森林環境譲与税を活用しながら、森林の持つ多面的機能の回復・維持に努めます。

主な取組	内容	
適正な森林整備の推進（森林環境譲与税の活用）	体制	・林業の担い手の確保 ・管理組合組織の運営支援 ・市内木材商組合等との連携
	計画	・香取市森林整備計画の更新及び推進
風倒木対策の推進	計画	・計画的な復旧・再生支援施策の検討
里山（牧野の森）の整備	体制	・地域住民や関係企業、市民活動団体等と連携した森林整備活動の推進
木材利用の促進	実行	・木材利用や普及啓発活動等の実施 ・地域の特性を活かした取組の検討及び実践 ・地域限定グッズの製作

#### ② 里山の保全及び治山事業の展開

森林経営の円滑化に資するほか、森林や里山の持つ機能の重要性を踏まえ、必要に応じ、治山事業等の保全管理施策の導入に努めます。

主な取組	内容	
森林・里山機能の周知・啓発及び里山管理の推進	実行	・周知啓発事業の展開
治山事業等の活用検討	実行	・管理用道路等の整備促進 ・自然災害対応施策の実施検討

# 商工業

■ 主担当課 商工観光課

■ 関係課 —

## 小施策

- 1 商業振興
- 2 工業振興

## 5年後の目指す姿

新規創業支援等を通じて商店街の空き店舗が次第に解消されることにより、様々な人が集い、地域固有の商いの場及び地域コミュニティの場として賑わっています。各事業所や工場についても、順調な操業を続けています。

## 業績評価指標

小施策	指標名	指標の説明	現状値	目標値			
			2022(令和4)	2023(令和5)	2025(令和7)	2027(令和9)	
商業振興	空き店舗新規開店数	香取市空き店舗対策事業補助金の交付を受け、新たに空き店舗に出店した事業者の累計数 (商工観光課調べ) <b>KPI</b>	3件 (2021)	26件	46件	66件	
	水の郷さわら来場者数	各年度における水の郷さわらの来場者数 (商工観光課調べ) <b>KPI</b>	1,111千人 (2021)	1,133千人	1,156千人	1,179千人	
工業振興	製造品出荷額	各年度における市内にある事業所が所有する原材料によって製造されたものを当該事業所から出荷した額 (出典:工業統計出荷報告書) <b>KPI</b>	73,727 百万円 (2021)	72,992 百万円	72,992 百万円	72,992 百万円	

## 関連する個別計画

- ・ 創業支援事業計画(2016(平成28)年6月1日～2026(令和8)年3月31日)

# 1 商業振興

## 現状と課題

- 1 近隣市や大手の郊外型大規模店に買い物が流出しています。小売店の数の減少が著しい中、既存商店街での消費が少なくなり、まちの活力自体も低下しているため、より一層、商店街の活性化が必要です。また、商店街の空洞化や空き店舗の増加が課題となっています。
- 2 事業主の高齢化や後継者不足により、廃業となるケースが増加しており、小売店の数と種別が大幅に減少するなど、商店街の空洞化や空き店舗の増加が課題となっています。
- 3 事業者同士の協力・協調体制が弱くなっているため、交流を深め、連携を強化し、催事等取組事業の活性化及び再構築を図ることが必要です。
- 4 香取市創業支援等事業計画に基づき行っている「香取創業塾」など、引き続き、新たに事業を行う事業者や事業承継への支援が必要です。
- 5 市内での買い物の利便性を向上させるため、集客力の高い商業施設の誘致が必要です。
- 6 市内の道の駅水の郷さわらは開業後10年以上が経過しており、経営方針及び設備の更新が必要です。

## 取組方針

### ① 商店街のにぎわい創出

重点

誘客効果の高いイベントの開催支援や、商店街の空き店舗への出店を促進するほか、商店会組織の充実及び活動活性化を図るなど、十分な現状分析と話し合いを行いつつ、商店街の賑わい創出に取り組みます。

主な取組	内容	
既存商店会及び新たな連携組織への支援	体制	・活動活性化に向けた取組等への支援
商店街の現状分析及び課題解決策の検討	体制	・協議や懇談の場の設置及び運営支援
	計画	・商店街ごとの課題の整理及び具体的な取組の検討
商業活性化イベントへの補助の継続	実行	・誘客効果の高い新規イベントの検討及び支援
空き店舗での開業者に対する支援の継続	実行	・空き店舗対策事業補助金の継続

### ② 市・金融機関・商工会議所や商工会等との協働による商業の活性化

重点

市・金融機関・商工会議所や商工会等との協働により、中小企業者の経営基盤強化に努めるとともに、事業者を支援します。

主な取組	内容	
中小企業の資金調達の支援	実行	・中小企業資金融資利子補給の継続
中小企業経営者の育成支援	実行	・商工会議所や商工会による経営診断等の支援 ・商工会議所や商工会による経営指導の充実

### ③ 事業者間の連携強化

他産業事業者等との情報交換の場を設け、事業者間の連携を深めます。

主な取組	内容	
事業者同士のつながり支援策の実施	実行	・経営者の会等の情報交換の場の提供
他産業との連携施策の展開	実行	・農業や観光分野等の事業者との情報交換機会の創出

## ④ 創業や事業承継の相談・支援体制の充実

重点

香取創業塾を開催し、創業や事業承継に必要な手続、資金調達、経営ノウハウ等の講義を行い、創業や事業承継を支援します。また、状況把握を行いつつ、資金面における支援の拡充や後継者不足に悩む事業者等への相談・支援体制を検討します。

主な取組	内容	
創業支援事業計画の検証及び次期計画の策定	計画	・現行計画の検証 ・国、県の動向を踏まえた次期計画の策定
創業や事業承継支援の継続	体制	・後継者不足に悩む事業者等への相談支援体制の検討
	計画	・推進課題の整理及び資金面での支援拡充の検討
	実行	・香取創業塾の開催継続 ・商工会議所等に設置している事業者向けのワンストップ相談窓口の継続

## ⑤ 商業施設誘致の検討

重点

市外に流出している消費動向を踏まえ、市内における買い物の魅力と利便性を高めるため、集客力の高い商業施設の誘致を検討します。

主な取組	内容	
商業施設誘致の検討	計画	・誘致可能用地の検討 ・進出希望企業の情報収集

## ⑥ 道の駅水の郷さわらの設備更新

重点

まちのにぎわい創出の拠点である、道の駅水の郷さわらの管理運営について、新たな事業展開等を検討するほか、適正な設備の維持管理に努めつつ、必要に応じ、その更新を検討します。

主な取組	内容	
道の駅の設備更新等の実施	実行	・事業手法の検討及び必要な設備の更新

# 2 工業振興

## 現状と課題

- 人口減少等に伴う生産年齢人口の減少や企業の撤退などにより、工業事業所数、従業者数、製造品出荷額等の減少が続いているため、市内工業の活性化が必要です。

## 取組方針

### ① 市内で活動する事業者への支援の充実

重点

操業支援、就業支援を念頭に置きながら、地域経済の基盤となり雇用の受け皿となる、工業の活性化を図ります。

主な取組	内容	
市内で活動する企業の事業拡大の促進	体制	・既存団地会組織等の連絡調整体制の充実
	計画	・各種就業対策への支援の検討
	実行	・市内で事業活動を拡大する既存事業者への支援
事業者と市の連携強化	実行	・小見川工業団地連絡協議会を通じた事業者と市の定期的な協議の実施

## 3節 大綱1：産業・経済の振興

## 1-3

## 企業・産業誘致



■ 担当課 商工観光課

■ 関係課 企画政策課・都市整備課

## 小施策

- 1 誘致活動      2 就労支援  
3 産業団地

## 5年後の目指す姿

地域産業の基盤となる企業を誘致し、様々な業種や職種の雇用の場が次々と確保され、活力あふれた地域産業としての地位を高めながら、市民等の暮らしの礎が創出されています。

## 業績評価指標

小施策	指標名	指標の説明	現状値	目標値		
			2022(令和4)	2023(令和5)	2025(令和7)	2027(令和9)
誘致活動	新規誘致企業数	各年度における誘致企業数 (商工観光課調べ) <b>KPI</b>	3件 (2021)	2件	2件	2件
就労支援	誘致企業の 市内在住雇用者数	各年度における誘致企業の 市内在住新規雇用者数 (商工観光課調べ) <b>KPI</b>	28人 (2021)	8人	8人	8人



市内に誘致した工場

## 1

## 誘致活動

## 現状と課題

- 1 若年層など生産年齢人口の流出が深刻な問題となっていることから、働く意欲の湧く業種や職種など、質と量の両面から、雇用の場を確保する必要があります。
- 2 立地を希望する企業側の求めに対し迅速に対応するため、市民や企業を通じて誘致可能な用地情報を収集・集約する必要があります。
- 3 企業誘致の実現に向け、新たな進出希望企業の発掘及び呼び込みが必要です。

## 取組方針

## ① 企業・産業誘致の推進

重点

本市独自の優遇措置の適用や新たな優遇制度を検討しながら、課題の整理及び推進方針の確立を踏まえた企業・産業誘致活動を展開し、若者の移住や定住促進に効果的な雇用環境の確保に努めます。

主な取組	内容	
企業・産業誘致の推進	計画	・課題の整理と企業・産業誘致推進方針の策定 ・新たな優遇制度等の検討と実施
	実行	・本市独自の優遇制度を活用した誘致活動の継続

## ② 誘致可能な用地の確保

重点

企業誘致が可能な用地情報を収集し、用地の開発可能性などについて調査・検討を行った上で、希望企業に対する情報を迅速に提供します。また、民間保有・管理地を含め、誘致可能な土地等のストックや情報を的確に把握・管理する体制が必要なため、官民一体となった連絡調整体制の構築を図ります。

主な取組	内容	
用地情報の収集と提供	体制	・官民一体となった連絡調整体制の構築
	実行	・企業や市民等からの積極的な情報収集の実施 ・開発可能性などの調査・検討の実施 ・企業等に対する活用可能用地の情報提供の実施・PR

## ③ 企業との良好な関係の構築

本市へ進出意向のある企業への営業活動を実施するとともに関係機関とも連携し、情報把握に努めます。

主な取組	内容	
企業等との情報交換	体制	・県企業立地担当との連携
	実行	・金融機関や不動産業者、デベロッパー等との情報交換 ・本市に立地した企業との懇談会の開催
企業訪問の実施	実行	・進出希望企業への積極的な訪問の実施

## 2 就労支援

### 現状と課題

- 1 | 産業・就業構造の変化に伴い、都市部への若者流出が顕著となっていることから、特に、市内在住の若者が市内で就職する際の支援と市内で創業する企業等へ市外からの就労を促進する活動が必要です。

### 取組方針

#### ① 若者の市内企業への就職促進

重点

地域社会を支える若者がそれぞれの働く場や地域で活躍し、その能力を発揮できるよう、場所や機会等の創出に取り組めます。

主な取組	内容	
ハローワークとの連携による地元企業のPR	計画	・都市部等での地元企業PR活動の検討・実施
	実行	・市内高校の新卒就業希望者を対象とした地元企業合同説明会の継続

## 3 産業団地

### 現状と課題

- 1 | 計画的かつ迅速な立地誘導をできないことが課題となっているため、新たな大規模土地利用可能地の整備、提供が必要です。

### 取組方針

#### ① 新たな工業団地整備の推進

企業・産業誘致のため、インフラ等の整った相当規模の用地が求められていることから、産業団地の整備を進めます。整備に当たっては推進体制を構築するとともに、計画を策定し、候補予定地の検討などを踏まえて進めます。

主な取組	内容	
工業団地整備検討の継続	体制	・工業団地の整備検討に向けた推進体制の構築
	計画	・新たな整備予定地の検討・確保 ・法規制、土地利用方針、実現可能性等の調整・検討
	実行	・佐原工業団地における県との協議継続

## 小施策

- 1 観光振興
- 2 観光事業

## 5年後の目指す姿

市内に点在する観光資源を磨き、組み合わせ、新しい魅力を創出します。これにより、観光客の滞在時間が長くなり、観光に関連する産業が活性化しています。また、観光関連施設に係る明確な運営方針等に基づき、関係者が一丸となった戦略的な取組が展開されています。

## 業績評価指標

小施策	指標名	指標の説明	現状値	目標値			
			2022(令和4)	2023(令和5)	2025(令和7)	2027(令和9)	
観光振興	観光入込客数	各年度における本市を訪れる観光入込客の総数 (商工観光課調べ) <b>KPI</b>	548万人 (2021)	700万人	705万人	710万人	
	外国人観光入込客数	各年度における本市を訪れる外国人観光入込客の総数 (商工観光課調べ) <b>KPI</b>	106人 (2021)	0.5万人	1.0万人	1.5万人	
	観光宿泊客数	各年度における本市に宿泊した観光客の総数 (商工観光課調べ) <b>KPI</b>	9.3万人 (2021)	10.5万人	11.0万人	12.5万人	
観光事業	水郷あやめパーク 入園者数	各年度における水郷あやめパークの入園者数 (商工観光課調べ)	55,660人 (2021)	8.0万人	8.5万人	9.0万人	



水郷あやめパーク花火大会

# 1 観光振興

## 現状と課題

- 1 | 観光振興基本計画を策定し、地域や観光関連団体等の観光分野における課題や取組、役割について共通認識を持つ必要があります。
- 2 | 本市の観光資源や特産品などは未だ地域ブランドが弱く、本市ならではの観光資源を発掘しながら、個々の魅力を高める必要があります。
- 3 | 市内に存在する魅力的な観光資源について、戦略的な観光プロモーション活動を実施することで、観光資源の質や認知度を向上させる必要があります。
- 4 | 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した外国人観光客を誘客するため、プロモーションの充実や受入環境の整備を進める必要があります。
- 5 | 観光客が利用する駐車場やトイレなど、観光客の受入れに必要な環境の整備が必要です。
- 6 | 本市は東京圏から日帰り圏内にあることから、観光客の滞在時間が短いため、より長い時間、本市に滞在してもらう取組が必要です。
- 7 | 地域や観光関連団体と一体となって観光振興を図るためには、地域や関係団体との意見交換が必要です。

## 取組方針

### ① 観光振興基本計画の策定

地域や観光関係団体等と連携して観光振興基本計画を策定し、具体的な取組を展開することにより、本市における観光分野の課題や各々の役割に係る認識の共有を目指します。

主な取組	内容	
観光基本計画（アクションプラン）の策定	体制	・有識者懇談会の開催及び計画策定体制の構築
	計画	・現況と課題の客観的な把握 ・地域、観光関係団体等と連携した観光基本計画の策定

### ② 新たな地域資源の発掘と磨き上げ

**重点**

本市の魅力的な観光資源を有効活用した新たな観光ルートの検討のほか、歴史や文化、特産品、自然等、地域に埋もれている観光資源の発掘と効果的な情報発信を行い、観光客の誘客を図ります。

主な取組	内容	
魅力ある観光ブランディングの推進	実行	・日本遺産北総四都市江戸紀行、東国三社のネームバリューを活用したブランディングの検討・実施
水郷圏観光事業の推進	実行	・関係自治体と連携した新たな商品、イベントの企画及び実施
観光資源の発掘と情報発信	体制	・地域や観光関係団体等との協力、連携
	実行	・地域おこし協力隊の活用
新たな観光商品の開発	体制	・地域や関係団体等との協力、連携
	実行	・体験ツアーや体験イベントの実施

## 重点

## ③ 効果的な観光プロモーションの推進

行政と関係団体が連携し、戦略的かつ効果的なプロモーションを推進します。市の総合的な方針等を踏まえつつ、メディアやSNS等を活用した観光情報の発信を積極的に行うことで、観光資源の質と魅力を向上させ、知名度アップと観光客の増加につなげます。

主な取組	内容	
多様な媒体を活用した情報発信の充実	体制	・推進連絡体制の構築
	計画	・有効な情報発信方法の検討
	実行	・メディア、SNS等を活用した積極的な情報発信
香取ファンクラブの活用	計画	・会員の新規獲得のための効果的なインセンティブの検討 ・会員による効果的な本市の魅力のPR方法の検討
フィルムコミッション事業の推進	実行	・フィルムコミッション事業を活用した観光情報の発信

## 重点

## ④ 外国人観光客の誘客の推進

市で採用している国際交流員による外国人目線での観光関連表示等の改善及び観光情報の発信をはじめ、多言語案内サービスや外国人向け観光ガイドの充実等、様々な受入環境の整備を進め、成田空港に隣接し、外国人観光客を呼び込みやすい立地環境にあるという特性を活かし、外国人の積極的な誘客を図ります。

主な取組	内容	
外国人観光客に向けた観光情報の発信	実行	・国際交流員による外国人目線での観光情報の発信
外国人観光客誘客の施策検討と実施	計画	・成田空港を活用した施策の検討と実施 ・成田空港からの観光タクシー事業の展開等の検討
観光関連施設（山車会館等）を中心とした多言語案内サービスの充実	計画	・民間事業者の多言語化に向けた取組の支援検討
	実行	・多言語案内サービスのある観光関連施設の充実
外国人観光ガイドの育成支援	体制	・国際交流協会との連携強化
	実行	・外国人向け観光ガイド育成講座の実施促進
観光関連施設や市街地での無線通信環境の維持・拡充	実行	・新たな設置店舗の発掘 ・既設置店舗への継続設置意向の調査
キャッシュレス決済の推進	計画	・キャッシュレス決済に係る課題の整理

## ⑤ 観光客の利便性を向上させる設備等の充実

観光地における駐車場不足を解消するため、新たな観光客利用駐車場の整備を検討します。また、観光客の利用するトイレや市内移動手段の充実を図るなど、観光客の利便性向上に努めます。

主な取組	内容	
市営観光客利用駐車場の利便性向上	実行	・適切な管理運営の継続 ・利用者の事故防止及び利便性向上のための整備
観光客利用駐車場の充実	計画	・新たな観光利用駐車場の整備や民間との連携の検討
観光客利用トイレの充実	計画	・新たなトイレ整備や多機能トイレの設置検討
	実行	・適正な維持管理と老朽化した観光客利用トイレの改修
観光関連施設や市街地での無線通信環境の維持・拡充	実行	・新たな設置店舗の発掘 ・既設置店舗への継続設置意向調査の実施
観光客向けの市内移動手段の充実	体制	・レンタサイクル事業や乗合タクシーの導入に向けた観光関連団体や民間企業との連携体制の構築
観光関連施設（山車会館等）の新設・改修の検討	計画	・老朽化した観光関連施設に係る整備方針等の策定

## ⑥ 観光客滞在時間の延長

重点

市内及び近隣自治体に点在する観光資源を周遊するツアーや夜間のイベント実施、農業などの体験型観光メニューの充実など、観光客の滞在時間を延ばす取組を推進します。また、観光客向けの市内移動手段を充実することにより回遊性の向上を図ります。

主な取組	内容	
市内及び近隣自治体の観光資源周遊ツアーの検討	体制	・ツアー内容についての近隣自治体との連携及び調整
観光客向けの市内移動手段の充実(再掲)	体制	・レンタサイクル事業や乗合タクシーの導入に向けた観光関連団体や民間企業との連携体制の構築
夜間における観光の充実	計画	・夜間の魅力発掘、資源の洗い出し ・夜の魅力を高める計画等の策定検討
	実行	・観光資源を活用した夜間イベントの検討・実施
体験型観光の充実	体制	・各産業の関連団体との連携及び調整
	計画	・体験メニューの検討

## ⑦ 地域や観光関連団体との連携

重点

地域や観光関連団体が一体となって観光を推進していくため、地域や関係団体からテーマに応じた課題や要望を聴取するなど、意見交換等を定期的に行います。

主な取組	内容	
地域や観光関連団体との連携	体制	・地域、関連団体との調整及び体制の構築 ・テーマを設定した定期的な座談会等の開催
	実行	・地域や観光関連団体が一体となった観光事業の推進



ユネスコ無形文化遺産に登録された佐原の山車行事

## 現状と課題

- 1 | 水郷佐原あやめパークを通年型の観光施設として年間を通して集客ができる施設にすることが重要であり、来園者の満足度を更に向上させるため、当施設で行うあやめ祭り、観藤会、はす祭りの充実を図る必要があります。
- 2 | 水郷佐原あやめパークの適正な経営診断を行うほか、観光施設として園内の美観を保つため、適正な維持管理が必要です。

## 取組方針

## ① 水郷佐原あやめパークの魅力向上

集客力のあるイベントの実施や体験型コンテンツを造成し、観光客のニーズに沿った通年型観光施設として魅力の向上を図り、より多くのリピーターを獲得するため、来園者に対するおもてなしの充実や当パークならではのサービスの向上に努め、より一層、来園者の満足度の向上を図ります。

主な取組	内容	
園内植物の適切な育成	体制	・指定管理者との連携強化
	実行	・栽培計画書に基づいた植物の育成や植栽の実施 ・ハナショウブ等水生植物の育成管理と充実
集客力のあるイベントの実施	体制	・指定管理者との連携強化
	計画	・夜間の魅力発掘、資源の洗い出し ・夜の魅力を高める計画等の策定検討
	実行	・あやめパークを活用した夜間イベントの企画実施 ・体験型コンテンツの開発や宿泊施設などの各種観光資源との連携強化
体験型コンテンツの造成	体制	・指定管理者との連携強化
	計画	・食と自然を活かした新たな体験型コンテンツの造成
	実行	・あやめ祭りを含めた各種イベントや体験・教室等の開催
魅力的なプロモーションの実施	体制	・指定管理者との連携強化
	計画	・来園者の意見・要望を踏まえ、更なるサービス向上の検討
	実行	・効果的な市ウェブサイトの作成及び運営、SNS等の活用

## ② 水郷佐原あやめパーク施設の適正な経営及び維持管理

市営の観光施設として来園者が快適な時間を過ごすことができるよう、園内の美観の保持や事故を未然に防ぐための点検など、適正な維持管理に努めます。

主な取組	内容	
適正な経営及び維持管理体制の構築	体制	・指定管理者との連携強化
	計画	・施設経営方針の確立及び営業活動の充実 ・観光事業の経営診断及び総括
施設の衛生管理の徹底	体制	・指定管理者との連携強化
	実行	・施設等の清掃や消毒の実施
施設等の原因による事故防止の徹底	体制	・指定管理者との連携強化
	実行	・ほ場や遊具等の点検の実施 ・ほ場、園内道路等の適正な維持管理